

事務事業評価シート

(H.30)No.	1206	(H.29)No.	1206
-----------	------	-----------	------

事務事業名	生活習慣病予防重点プロジェクト事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	健康・子育て支援室	山崎 美穂	

会計区分	事業コード	254801
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 衛生費	生活習慣病予防重点プロジェクト事業	
項 保健衛生費	(小事業名)	
目 成人保健事業費	生活習慣病予防重点プロジェクト事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	2	保健・医療・福祉のネットワークづくり
	施策	2	健康づくり
重点プロジェクト	3.生涯現役プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
市民の健康の維持・増進を図るとともに将来にわたる国民健康保険の持続可能な運営に資することを目的とする。
事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診率向上: 自己負担金を1,000円から500円とし、がん検診と同時受診できる集団健診を実施。 ・高血圧症等の重症化予防: 慢性腎臓病・高血圧症のハイリスク者に対して家庭訪問指導を行う。また、生活習慣病予防講演会等を行う。 ・がん検診の受診率向上: 節日年齢者の胃がん・肺がん・子宮がん・乳がんの検診自己負担金無料化の他、予防啓発講演会や検診体制の強化を行う。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)	
	主な事業の実績・計画	○三重大学との共催事業「市民公開講座」の開催(12月2日実施) ・心臓マッサージ講習会57名 ・がん・心疾患講演会:179名 ・健康運動指導士による健康体操の実施 ・食生活改善推進員による減塩・栄養バランスメニュー試食 ○特定健診の実施 全15地域で集団健診実施		予防講演会の実施 特定健診の実施

	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
	予防講演会の実施 特定健診の実施	予防講演会の実施 特定健診の実施	予防講演会の実施 特定健診の実施

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		8,698千円		10,541千円	10,541千円	10,541千円	10,541千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他(繰入金)		7,198		7,500	7,500	7,500
	一般財源	0	1,500	0	3,041	3,041	3,041
人工数	職員		0.60人	0.60人	0.60人	0.60人	0.60人
	臨時職員等		1.15人	0.19人	0.19人	0.19人	0.19人
②概算人件費	0千円	4,440千円	0千円	4,440千円	4,440千円	4,440千円	4,440千円
①+②総事業費	0千円	13,138千円	0千円	14,981千円	14,981千円	14,981千円	14,981千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
<p>三重大学との協働により、がん(胃・膵臓)や循環器疾患(不整脈)予防、救命救急講習等の市民公開講座を開催した。また、三重県及び三重大学附属病院との協働モデル事業として、中学生に向けたがん予防教育の授業を行い、若い世代からの健康づくりに取り組んだ。がん検診地域づくり組織と協働で集団特定健診、集団がん検診を行っている。</p>

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
各健(検)診の受診率を上げつつ、重症化予防に向けた取り組みが必要。目標達成に向けて事業に取組む。	健康なばり21計画 特定健康診査等実施計画